

あなたの建物のブロック塀は大丈夫ですか？



© 岡山県「ももっち」 © 岡山県「うらっち」

今年6月に発生した大阪府北部を震源とする地震では、大阪府内でブロック塀や組積造の塀（以下「ブロック塀等」という。）が倒壊し、尊い命が奪われました。

建築基準法に適合しないブロック塀等や、老朽化により破損したブロック塀等は、地震時に倒壊する恐れがあり、大変危険です。

ブロック塀等の維持管理は、所有者・管理者の責任となりますので、まずは、下のチェックポイントにより、ご自身が所有・管理するブロック塀等の安全点検を行ってください。

点検の結果、危険性がある場合は、補修・撤去等、専門家と相談し、改善を行ってください。

また、特殊建築物等定期調査報告の対象となる建築物に付属して、ブロック塀等がある場合は「耐震対策の状況」「劣化及び損傷の状況」を調査することとされています。ブロック塀等が付属している場合は十分な調査・点検を実施し、調査した結果、危険性があると認められたものについては、建築士等の専門家に相談のうえ、速やかに補修・撤去等の対応をお願いします。

ブロック塀点検のチェックポイント (国土交通省作成)

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか
・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
・塀の厚さは10cm以上か。（塀の高さが2m超2.2m以下の場合には15cm以上）
- 3. 控え壁はあるか。（塀の高さが1.2m超の場合）
・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。

- 4. 基礎があるか
・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
・塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

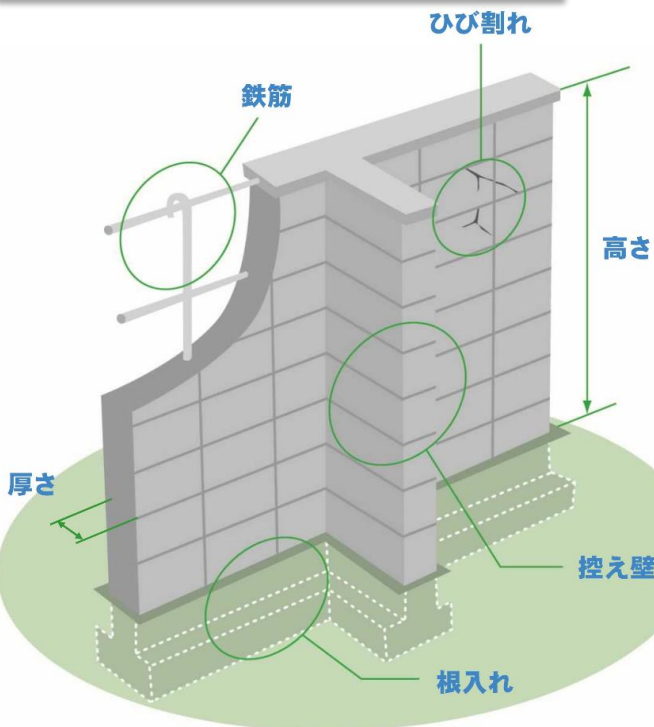
- 6. 塀に鉄筋が入っているか
・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
・基礎の根入れ深さは30cm以上か。（塀の高さが1.2m超の場合）

組積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。



出典：
パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013. 1 より一部改

ブロック塀の診断についての問い合わせ先(専門家)

○(一社)全国建築コンクリートブロック工業会 TEL 03-3851-1077

○(一社)岡山県建築士事務所協会 TEL 086-231-3479

岡山県建築指導課ホームページ

- ・点検等に関する参考資料の掲載
- ・建築基準法所管行政庁の窓口案内

【URL】

⇒<http://www.pref.okayama.jp/page/563659.html>

